



2021 年度のクリーニング資料 (1/3)



岩塊（写真下）の
中から新たに発見
された歯

モササウルス類の歯発見



HMG-370 の
頚椎



今回クリーニングした
岩塊

穂別博物館登録資料 HMG-370 は日高町門別産で、福居正高氏（平取町）が 1984 年に採集・寄贈されたモササウルス類化石です。1985 年にモササウルス科属種不明の標本として報告され、展示されてきました。

この標本には、展示されてきた頚椎（写真右上）以外に断片的な骨化石が含まれている岩塊（石灰質ノジュール）もありました（写真下）。これについて追加クリーニングを行ったところ、岩塊の表面からは見えなかった歯が 1 点産出しました。

穂別博物館にはむかわ町穂別と周辺地域産のモササウルス類化石が複数収蔵されています。今回の発見で、歯が保存されているものは 7 個体【ホッピーだより No. 322 でも紹介；HMG-11 プリオブラテカルプス類？；HMG-12 モササウルス・ホベツエンシス；HMG-370 当標本；HMG-371 ティロサウルス；HMG-1065 モササウルス・プリズマティクス；HMG-1077 モササウルス科属種不明；HMG-1528 フォスフォロサウルス・ポンペレガンス（＝穂別博物館モササウルス類第 10 標本）】となりました。

学芸員 西村智弘

カムイサウルスのこれまで⑪



第二次発掘前の事前工事(2014年7月31日)。工事で掘削された岩石置き場の下に沢の水を流すパイプを設置。矢印がカムイサウルスが埋没している場所(下の写真も同様)。



第二次発掘初日。博物館スタッフが人力で掘り始める(2014年9月4日)。鉄の棒・矢印で示しているのが骨化石層が埋没している箇所。



重機を使った事前工事(2014年8月21日)。沢側に掘削で生じた岩石を移動させている。

崖の奥・下側に続いているカムイサウルス骨化石層の発掘を進めるため、発掘していた崖を大規模に掘削する必要があります。2014年の第二次発掘の前に事前工事が行われ、骨化石層の周辺の地形をかなり変更する工事が重機を使用して行われました。カムイサウルスが埋まっている場所を中心として崖を奥側に掘削するとともに、掘削で生じた岩石を沢側に移動させる工事が進められました。

第二次発掘は2014年9月4日から開始しました。重機でカムイサウルスが埋没している地層の手前まで掘削し、そこからは人力でカムイサウルス骨化石層まで掘削していきまし

学芸員 西村智弘

むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30 ~ 17:00
(最終入館 16:30)

観覧料	大人	小学生～高校生
個人	300 円	100 円
団体 (10名様以上)	200 円	50 円

小学生未満：無料
むかわ町の小学生～高校生：無料

2022年6月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

休館日

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一度に観覧できる観覧者の上限は40名とし、混雑時には入場制限を行う場合があります。また、告知期間の長さに関わらず臨時休館になる場合もありますので HP (<http://www.town.mukawa.lg.jp/2402.htm>) でご確認ください。

